

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】SST G1 Pro Ver.1.1.18
【アプリケーション名】setup.exe
【著作権者】株式会社カンバス
【動作環境】Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
 2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver.1.1.18> 2016.7

本バージョンアップによる変更内容

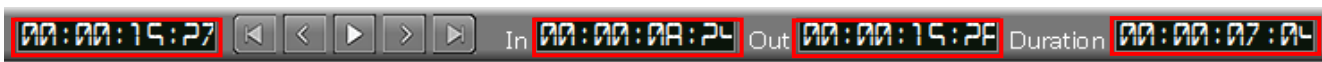
1) 機能追加

—スケーリングに対応しました。

Windows のスケーリング機能（画面や表示領域の広さに合わせて自動的に拡大・縮小する機能）に対応しました。これによって特定のディスプレイ上（※）にて、一部の画面の文字が欠けていたり表示が重なっていたりする事象が解消されます。

●従来のバージョン

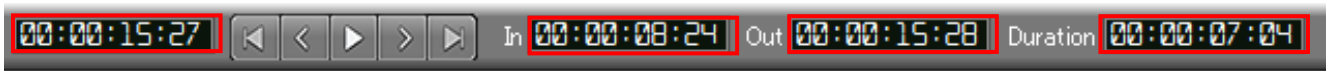
タイムコード



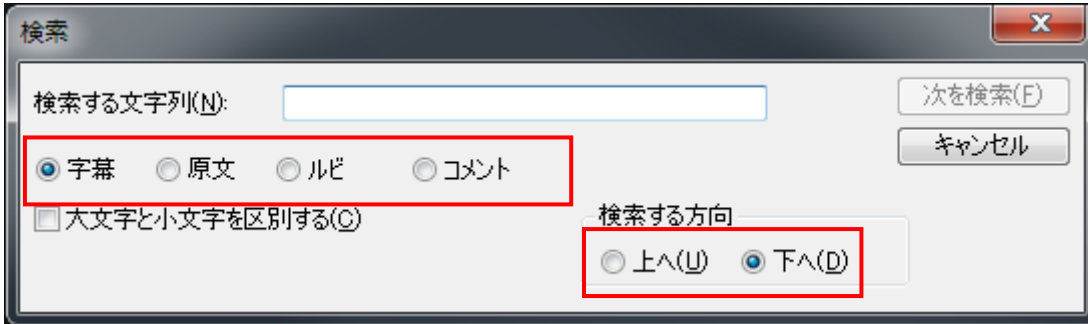
検索ウィンドウ



●本バージョンより
タイムコード



検索ウィンドウ



※ディスプレイの設定について

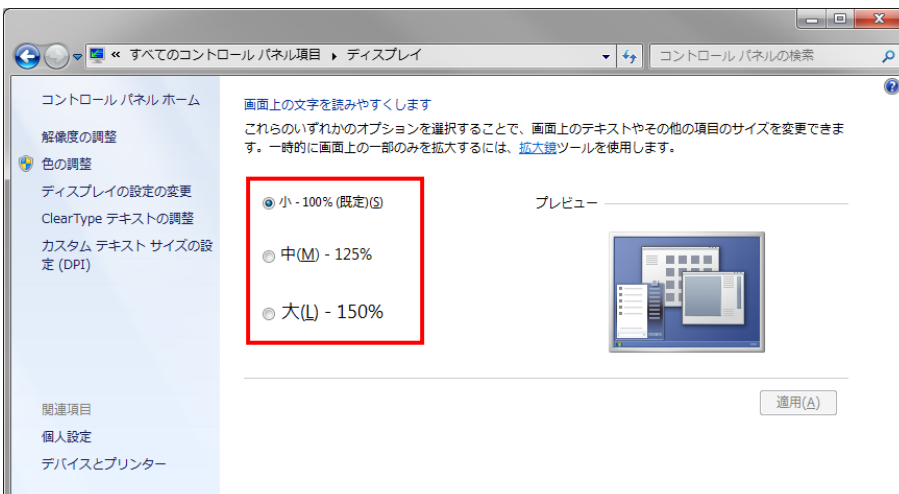
画面上のテキストやその他の項目のサイズが 100%より大きい設定の場合、従来のバージョンだと一部が欠けたり重なったりすることがありました。設定は下記画面にて確認いただけます。

Windows7：[コントロールパネル]－[ディスプレイ]

Windows8、8.1：[コントロールパネル]－[デスクトップのカスタマイズ]－[ディスプレイ]で
「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用」にチェックを入れる

Windows10：デスクトップ上で右クリック→[ディスプレイ設定]の「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」

なお、本対応はテキストのサイズを「中（125%）」「大（150%）」で設定した場合のみになります。それ以外の倍率は未対応になります。（「小（100%）」は従来通り対応しております。）



ー連続再生時の表示タイミングを調整する機能を追加しました。

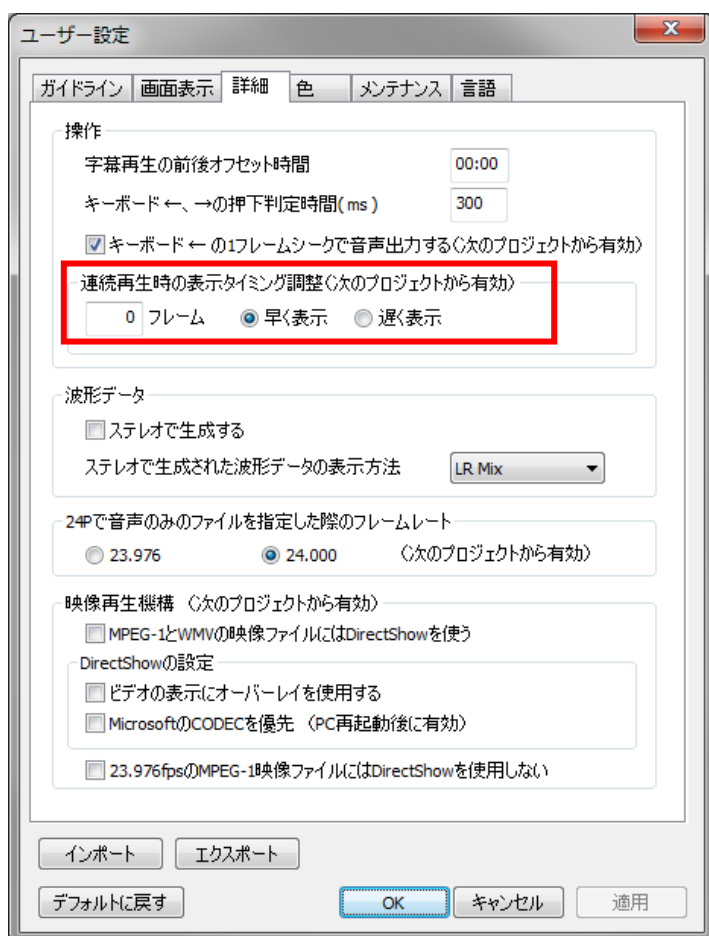
連続再生時に、字幕の表示タイミングをフレーム単位で早めるもしくは遅らせることができるようになりました。PC や映像ファイルによって、データ上では正しく In 点と Out 点を取っているのに、連続再生時の表示に差があり、ずれているように見えるときに調整を行います。

※本機能は PC ごとの個性が多分に絡んでくるため、利用方法サポート以外のサポート対象外とさせていただきます。

※wmv は対象外です。

※[ユーザー設定]→[詳細]→「キーボードの←、→押下判定時間」の項目をデフォルトより小さい値に設定している場合、「→」キーでコマ送りをしたつもりでも押下時間によって連続再生（長押し）と認識され、表示タイミングが設定値の数値になる場合がございますので、ご注意ください。（本項目のデフォルト値は「300」です。）

[設定]－[ユーザー設定]－[詳細]タブより調整が行えます。



字幕全体を何フレームずらして表示するかを設定します。この設定により、連続再生時のみ、そのフレーム数分だけ字幕全体をずらして表示させるようになります。なお、1 フレーム単位での再生時は調整を行わず、今まで通り再生されます。

—記号などの表示を自動的に調整している機能を、有効／無効に設定を切り替えられるようにしました。SSTG1 のプレビューウィンドウでは、ダブルクォーテーションなど一部の記号を、tif や png などの画像ファイルで出力したときに見やすいように自動的に調整しています。

■横字幕

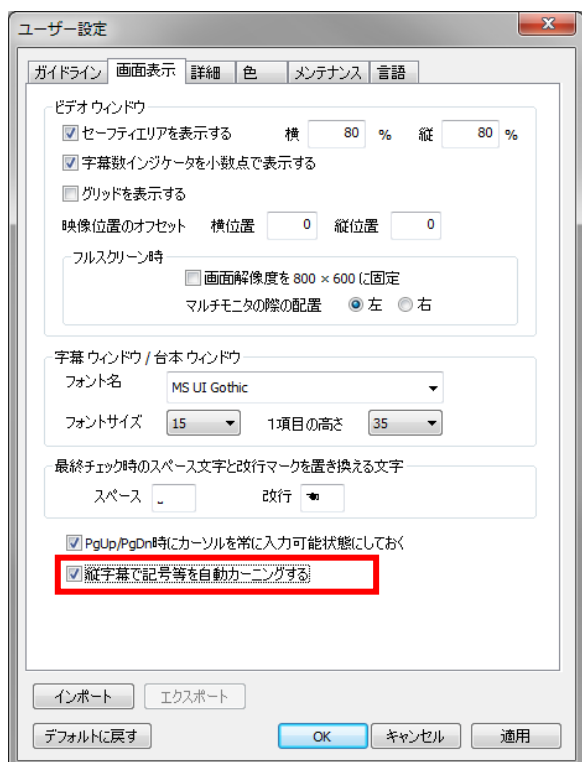
その“ディスク”は

■縦字幕

その
“
ディスク
”
は

見やすくなるよう回転+カーニングで自動的に調整している

この調整の内、カーニングに対する自動調整を有効にするか無効にするかを設定できるようになりました。[設定]－[ユーザー設定]－[画面表示]タブより設定が行えます。



※文字の回転は無効にできません。
※特定の文字のみカーニングを解除したい場合は、個別にカーニング調整を行ってください。

これにより、文字数だけが重要となる作業において、現在入力している文字数が分かりやすくなります。チェックを入れないと、文字のレイアウト的には違和感のあるものとなります。

■自動カーニングあり→

あ
つ
ま
り
か
り
は
”
は
”
わ
”
か
”
い
”
な
”
い

←■自動カーニングなし

あ
つ
ま
り
か
り
は
”
は
”
わ
”
か
”
い
”
な
”
い

そのため、最終的に tiff など**画像系のエクスポートをされる際には、このチェックは外さない**でエクスポートをしてください。

●AAF エクスポート

ー画像ファイル (.tif/ .png) の名前を変更できるようにしました。

従来のバージョンでは画像ファイル (.tif/ .png) の名前は 0001#, 0002#, 0003#…とタイムコード順に機械的に番号が振られたものになっていました。

本バージョンより、画像ファイルの名前を以下のいずれかから選択して出力できるようになりました。

①aaf 出力ファイル名 + 字幕番号 + トラック

AAF エクスポート画面の[全般]タブにて、出力ファイル名として設定した名前が tif/png に付与されます。

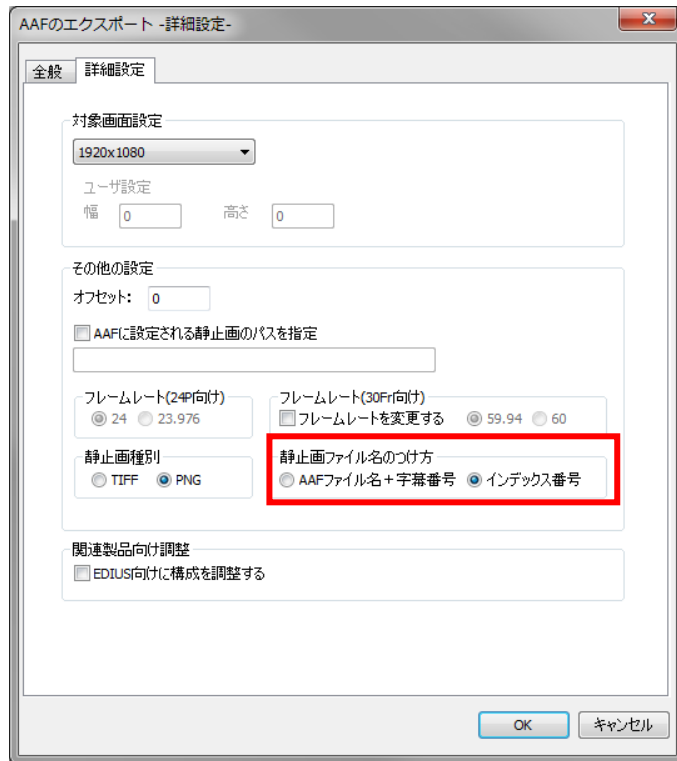
例/aaf 出力ファイル名「sample.aaf」、字幕番号 10 番、B トラックの字幕
→sample10B.tiff

※注意

- ・ aaf 出力ファイル名には半角英数字を設定し、全角文字や記号は使用しないでください。記号が含まれるとエラーになることがあります。
- ・ 字幕番号には半角英数字を設定し、記号は使用しないでください。記号が含まれるとエラーになることがあります。
- ・ エクスポートした画像ファイルは、字幕番号順で並び、字幕がタイムコード順では並ばなくなります。
- ・ 同トラック内で字幕番号が重複している場合、どちらか片方の字幕しか出力されません。必ず字幕番号が重複しないように設定してください。

②インデックス番号を利用

これまで同様、0001#、0002#、0003#…とタイムコード順に機械的に番号が振られます。



2) バグ修正

–ルビが振られた文言を置換した際の挙動を修正しました。

以前のバージョンではルビが振られた文言を置換すると、後ろの文言に振られているルビの位置がずれてしまう問題がありました。今回のバージョンでは、ルビがずれないように修正しております。

※本件は 2016 年 5 月 27 日にお知らせしているルビ付き字幕編集時の不具合の修正になります。

–In 点・Out 点をマウスで調整した際の挙動を修正しました。

以前のバージョンでは In 点または Out 点をマウスでドラッグして調整しようとする、新たにハコが取れてしまうことがありました。今回のバージョンではその挙動を修正し、In 点・Out 点の調整がマウスのドラッグで行えるようになっています。